

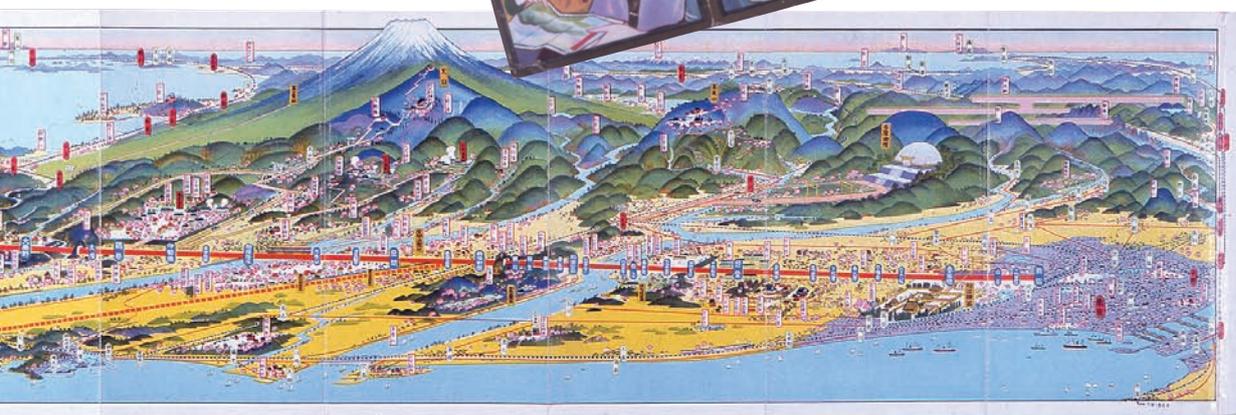
初
三
郎
の
世
界

【小田原急行鉄道沿線名所案内
【小田原急行鉄道沿線名所図絵】
(昭和2(1927)年)

表紙は車中で図絵に見入る和装婦人と子ども、裏表紙に車窓から見える富士山と親子連れが描かれている。富士山を中央に図の右から左へ、一直線に路線が走る典型的な構図。



大正・昭和の鳥瞰図絵
連載—第4回
吉田初三郎の世界



小田原急行鉄道沿線名所

開業時の記念ポスターと名所図絵

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

小田急電鉄は、昨年四月一日、新宿—小田原間の営業運転開始から数えて八十周年を迎えた。これを記念して同社では吉田初三郎が昭和二年の開業時に描いた「開通小田原急行電車」記念ポスターを拡大複製した。小田急新宿駅西口の地上改札口に揭示されていたのを見つけたときにはうれしくなったものである。

このポスターの横幅を幾倍にも引き伸ばしたのが、同じ昭和二年描画、横長折り版の本図である。中央には山岳信仰で知られた大山おおやまを抱え込むようにデフォルメした富士山を配置。右端の新宿から左端の小田原まで、旅の時間短縮経路を一直線の鉄道路線で表現した得意の構図だ。

バックグラウンドとしての箱根・伊豆方面も大きく描き、名勝・旧跡や温泉の湯煙が目立つ。霊場高尾山や多摩御陵も模写。沿線では、明治神宮、豪徳寺、向丘遊園地、鶴巻温泉

藤本一美
首都大学東京非常勤講師。日本国際地図学会常任委員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。
近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。近著に『旅と風景と地図の科学Ⅱ』(2006年)がある。

